2027 年 3 月期　中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月16日

上場会社名　　ヒューマンステージホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　321A　　ＵＲＬ　https://www.human.or.jp/humanstageholdings/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）高田　幸喜
問合せ先責任者　（役職名）取締役　管理部　　（氏名）夘山　剛　　ＴＥＬ　06(6210)4789

中間発行者情報提出予定日　2026年12月28日　　配当支払開始予定日　－
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期中間期の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,072	6.0	△1	－	32	△66.2	15	△83.0
2026年３月期中間期	1,956	△4.2	11	21.2	96	△23.0	94	△20.9

（注）包括利益　2027年３月期中間期　221百万円　（△2.6%）　2026年３月期中間期　226百万円　（212.1%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	12.63	－
2026年３月期中間期	74.41	－

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	4,607	2,330	50.6
2026年３月期	3,939	2,109	53.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　2,330百万円　2026年３月期　2,109百万円

２．配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	0.00	0.00	0.00
2027年３月期	0.00		
2027年３月期(予想)		0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,004	4.9	8	－	16	△84.3	△5	－	－

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,265,000株	2026年３月期	1,265,000株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	－株	2026年３月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,265,000株	2026年３月期中間期	1,265,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の持ち直しなどを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇による個人消費への影響に加え、米国の通商政策や中東情勢を背景とした海外経済の不確実性など、景気の先行きには引き続き注意を要する状況にあります。また、企業においては、人手不足を背景とした賃上げの動きが継続しており、持続的な賃金上昇と物価上昇の好循環を通じた成長型経済への移行が期待される一方、人材確保や労務費の上昇への対応が重要な課題となっております。

このような経済環境のもと、当社グループは、「人材サービス事業」においては、企業の人手不足や多様化する人材ニーズに対応するため、営業体制の強化と人材サービスの充実を図るとともに、派遣料金の適正化や業務の効率化を推進し、収益性の向上に取り組んで参りました。また、「不動産賃貸事業」においては、保有物件の稼働率向上や賃料の見直しを進めるとともに、保有資産の効率的な運用に努めて参りました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,072百万円（前年同期比6.0%増）、営業損失1百万円（前年同期は営業利益11百万円）、経常利益32百万円（前年同期比66.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益15百万円（前年同期比83.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①　人材サービス事業

人材サービス事業においては、製造業を中心に人手不足や人材確保が引き続き課題となる中、事務系及び製造系の双方の人材派遣に対応できる営業基盤を活かし、特に受注規模の大きい製造系人材派遣の受注拡大に注力いたしました。また、収益性の高い支店への営業人員の重点配置や営業活動エリアの拡大を進め、受注機会の拡大に取り組みました。

また、派遣労働者の雇用の安定とキャリア形成を支援するため、紹介予定派遣を活用した派遣先企業への直接雇用の促進に取り組むとともに、派遣先企業の多様な採用ニーズに対応した人材サービスの提供を進めております。

この結果、売上高2,031百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益29百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

②　不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、空室状況の解消及び昨年の賃料引き上げにより売上高が増加しました。

この結果、売上高41百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益15百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、1,813百万円となりました。これは主に、現金及び預金が89百万円減少した一方、売掛金が39百万円、仮払金が41百万円、前払費用が21百万円増加したこと等によるものであります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ660百万円増加し、2,793百万円となりました。これは主に投資有価証券が684百万円増加したこと等によるものであります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ365百万円増加し、1,624百万円となりました。これは主に、短期借入金が290百万円、未払金が53百万円、未払消費税等が36百万円増加したこと等によるものであります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し、652百万円となりました。これは主に、長期借入金が12百万円減少した一方、繰延税金負債が95百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ221百万円増加し、2,330百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が15百万円増加したことに加え、有価証券評価差額金が205百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ129百万円減少し、496百万円となりました。

また、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びその主な要因は、次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間末の営業活動によるキャッシュ・フローは、25百万円の支出（前年同期は88百万円の支出）となりました。これは主に、未払金の増加53百万円、未払消費税等の増加36百万円があった一方、投資有価証券売却益41百万円、売上債権の増加39百万円、法人税等の支払額29百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間末の投資活動によるキャッシュ・フローは、378百万円の支出（前年同期は263百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入416百万円、定期預金の払戻による収入274百万円があった一方、投資有価証券の取得による支出742百万円、定期預金の預入れによる支出314百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間末の財務活動によるキャッシュ・フローは、274百万円の収入（前年同期は62百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増加290百万円があった一方、長期借入金の返済による支出12百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出3百万円等の返済によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、実績及び最近の業績動向を踏まえ、2026年５月14日の「2026年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表致しました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,373,893	1,284,205
売掛金	381,707	421,338
その他	52,696	109,290
貸倒引当金	△1,200	△1,000
流動資産合計	1,807,097	1,813,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	621,692	623,774
減価償却累計額	△233,969	△243,929
建物及び構築物（純額）	387,722	379,845
土地	641,540	641,540
リース資産	50,644	50,644
減価償却累計額	△36,153	△39,160
リース資産（純額）	14,490	11,484
その他	7,650	6,524
減価償却累計額	△5,230	△4,369
その他（純額）	2,419	2,155
有形固定資産合計	1,046,173	1,035,024
無形固定資産		
ソフトウェア	7,135	14,219
その他	313	313
無形固定資産合計	7,448	14,533
投資その他の資産		
投資有価証券	840,537	1,524,944
長期貸付金	155,000	155,000
繰延税金資産	12,868	－
その他	70,490	63,880
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	1,078,787	1,743,716
固定資産合計	2,132,409	2,793,274
資産合計	3,939,507	4,607,108

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
短期借入金	790,000	1,080,000
１年内返済予定の長期借入金	24,550	24,437
短期リース債務	6,662	5,550
未払金	359,496	413,268
未払法人税等	25,248	8,763
未払消費税等	36,419	73,313
賞与引当金	6,902	6,682
その他	9,053	11,995
流動負債合計	1,258,333	1,624,010
固定負債		
長期借入金	551,601	539,516
リース債務	9,427	7,102
繰延税金負債	5,071	100,384
その他	5,435	5,435
固定負債合計	571,536	652,438
負債合計	1,829,870	2,276,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,769,802	1,769,802
利益剰余金	244,793	260,781
株主資本合計	2,114,595	2,130,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,958	200,075
その他の包括利益累計額合計	△4,958	200,075
純資産合計	2,109,636	2,330,659
負債純資産合計	3,939,507	4,607,108

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,956,150	2,072,894
売上原価	1,588,747	1,706,337
売上総利益	367,402	366,556
販売費及び一般管理費	356,296	368,281
営業利益及び営業損失（△）	11,106	△1,724
営業外収益		
受取利息	1,296	2,212
受取配当金	4	4
為替差益	67	－
投資有価証券売却益	66,087	41,170
保険解約返戻金	28,487	－
その他	1,193	945
営業外収益合計	97,137	44,332
営業外費用		
支払利息	6,622	9,849
投資有価証券売却損	4,879	－
為替差損	－	22
営業外費用合計	11,501	9,871
経常利益	96,741	32,735
特別利益		
固定資産売却益	43,392	－
特別利益合計	43,392	－
特別損失		
会員権評価損	－	7,428
電話加入権評価損	5,324	－
特別損失合計	5,324	7,428
税金等調整前中間純利益	134,809	25,307
法人税、住民税及び事業税	40,132	13,327
法人税等調整額	547	△4,008
法人税等合計	40,679	9,318
中間純利益	94,130	15,988
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	94,130	15,988

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	94,130	15,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132,779	205,034
その他の包括利益合計	132,779	205,034
中間包括利益	226,909	221,022
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	226,909	221,022

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	134,809	25,307
減価償却費	16,021	15,578
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△208	△200
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,110	△220
受取利息及び受取配当金	△1,301	△2,216
保険解約返戻金	△28,487	－
支払利息	6,622	9,849
為替差損益	△67	22
固定資産売却益	△43,392	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△61,208	△41,170
会員権評価損	－	7,428
売上債権の増減額（△は増加）	21,974	△39,631
未払消費税等の増減額（△は減少）	17,003	36,893
未払金の増減額	△58,206	53,772
その他	△51,954	△53,248
小計	△47,285	12,166
利息及び配当金の受取額	1,301	2,216
利息の支払額	△6,543	△10,226
法人税等の支払額	△35,510	△29,812
営業活動によるキャッシュ・フロー	△88,037	△25,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,253	△2,566
有形固定資産の売却による収入	100,911	－
投資有価証券の取得による支出	△939,604	△742,981
投資有価証券の売却による収入	1,038,749	416,967
無形固定資産の取得による支出	－	△8,948
定期預金の預入れによる支出	△320,475	△314,201
定期預金の払戻による収入	333,056	274,366
貸付金の回収による収入	－	300
保険積立金の解約による収入	104,332	－
その他	△6,408	△1,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	263,308	△378,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△42,000	290,000
長期借入金の返済による支出	△12,249	△12,198
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,080	△3,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,330	274,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	△22
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	113,008	△129,521
現金及び現金同等物の期首残高	518,796	626,243
現金及び現金同等物の中間期末残高	631,804	496,721

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注1）	中間連結損益計算書計上額（注2）
	人材サービス	不動産賃貸			
売上高					
外部顧客への売上高	1,917,904	38,246	1,956,150	－	1,956,150
セグメント間の内部売上高または振替高	－	7,089	7,089	△7,089	－
計	1,917,904	45,335	1,963,240	△7,089	1,956,150
セグメント利益	42,028	14,121	56,150	△45,044	11,106

（注）1. セグメント利益調整額△45,044千円には、セグメント間取引消去10,832千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△55,876千円を含むものであります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注1）	中間連結損益計算書計上額（注2）
	人材サービス	不動産賃貸			
売上高					
外部顧客への売上高	2,031,304	41,589	2,072,894	－	2,072,894
セグメント間の内部売上高または振替高	－	6,892	6,892	△6,892	－
計	2,031,304	48,482	2,079,786	△6,892	2,072,894
セグメント利益又は損失（△）	29,854	15,654	45,508	△47,233	△1,724

（注）1. セグメント利益調整額△47,233千円には、セグメント間取引消去9,796千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△57,030千円を含むものであります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。